

道標ない旅 考えて行動できる人

～自立・創造・しなやかな心～



令和5年度 第20号
2023.10.27発行
葉山町立南郷中学校
校長 益田 孝彦
Tel. 046-875-9494
Fax. 046-876-0684

<https://www.town.hayama.lg.jp/nangou/index.html>

◇◇ 第20号のダイジェスト ◇◇

1. マラソン大会の入賞者速報を掲載しました。
2. 生徒の活動パート2を紹介しました。・・・インフルエンザが蔓延しないようにしましょう。
3. 民生委員さんの学校訪問で、学校に有用な意見が寄せられました。
4. 教育委員学校訪問でいただいたご意見・感想を紹介しました。
5. 10/30から学校評価アンケートが始まります。ご協力心よりお願い申し上げます。

◆◆ マラソン大会が開かれました。 ◆◆

10月27日(金)、学校へ行こう週間の最後を締めるマラソン大会が開かれました。大変残念なことに、1年A組とC組が、インフルエンザ蔓延のため、学級閉鎖となり、全校を上げての行事となりませんでした。朝から駆けつけてくださったPTAの方々によって作られたコロケパンも振る舞われ、賑やかな1日となりました。

詳細は別に譲りますが、主な結果は以下の通りでした。

順位	男子	女子
優勝	3年B組	3年A組
準優勝	3年B組	3年C組
第3位	3年B組	2年A組
第4位	3年A組	1年B組
第5位	2年A組	2年C組
第6位	3年C組	3年B組
第7位	2年C組	3年B組
第8位	3年C組	2年C組
第9位	2年A組	2年C組
第10位	3年A組	3年C組



平日にも関わらず数えてみると100名を超す保護者の方々（役員で手伝って下さった方を含む）多くの保護者の方々の参観・ご声援を受けることができ、無事終了できたことを嬉しく思います。本当の意味で全力を出し切った生徒もいて、それぞれが自分と向き合ういいマラソン大会になったと思っています。

◆◆ 実りの秋、生徒達の様々な活動が行われています。パート2 でもインフルエンザには注意！ ◆◆

(1) 逗葉地区青少年音楽祭

10月21日(土)、葉山町福祉文化会館で行われた青少年音楽祭。逗葉地区の5つの公立中学校吹奏楽部と、逗子葉山高等学校吹奏楽部が出演し、各校独自のそしてお得意の演奏を披露しました。最後に、6校での合同演奏もあり大変盛り上がりしました。南郷中吹奏楽部は、11月3日(金)の葉山町文化祭にも葉山中と一緒に出演します。



(2) 葉山町でインフルエンザが猛威を振るいだしたそうです。(校医さんより) バスケットや野球等部活動の大会がこの土日あるかと思いますが、健康に留意して、校内での蔓延を防ぎ、3年生が安心して進路を目指せるよう、学校全体で協力しあって、支援していきましょう。(考えて行動できる人!)

◆◆ 民生委員学校訪問がありました。 ◆◆

10月25日(水)、民生委員児童部会の方々中心の学校訪問がありました。地元長柄地区の委員さんは2名、後の7名は他地区を担当される委員さんでした。初めて南郷中学校を訪れる委員さんも多く、授業の様子などを通し、「南郷中学校って素敵な学校ですね。」「子どもを通わせたいと思った。」等、感想が寄せられました。そんな中、注目したいご意見があったのでこの場で紹介させていただきます。

- ・人の話を聞く力が、これから先とても大切だと思うが、そのスタンスが様々なクラスの授業の中にあっと思った。
- ・自分が過ごした大阪の学校は大荒れで、しょっちゅう物が破壊されているボロボロの学校だったが、その学校と比べても、施設が古く感じた。きれいな施設にしてあげたいと思った。
- ・～しよう。 ～しちゃダメよ。 といった貼り紙は、校風になじまないと感じた。紙に書いてどんどん増えると規制と何ら変わらない。今日見せていただいた南郷中学校の教育状況であれば、いらぬのではないかなとはっきり感じた。
- ・(草刈りや、駅伝の手伝いなど地域や民生委員さんに相談することは可能かと伺ったところ→) 日の出園の階段の草刈りや、上ノ山公園で開く中学校駅伝大会予選会のお手伝い(役員補助)など、地域や民生委員会等に相談してくだされば協力できることがたくさんあると思う。

◆◆ 教育委員学校訪問がありました。 ◆◆

翌10月26日(木)には、教育委員学校訪問がありました。訪問を通し、各委員(教育委員5名+学校教育課長)さん達から学校へ寄せられた感想・ご意見は以下のようなものでした。

- ・建物は古くなったが、生徒を含め落ち着いている。先生方の服装も良くなった。英語の先生の声がよく聞こえてきていいなと感じた。
- ・掲示物一つとっても丁寧な取り組みを感じて良かった。英語の授業は親しめるものだった。昔ながらの感じの一斉授業も散見したが、理科の授業は、生徒と同じように引き込まれる授業だった。
- ・嫌々授業を受けている生徒がいなかったと感じた。理科の授業は両先生とも引き込む授業をやっていた。英語の授業は声通っていい。プロジェクター画面の扱いは雑に感じたが、T. Tの先生との息の合ったいい授業をやっていた。「学び合い」の授業で孤立している生徒がいなければ、気になって授業観察した。
- ・校長の学校説明で、学校の目指す方向が分かった。授業全体への願いは、「教師と生徒が作り上げる授業であってほしい。プリントを渡すだけでは課題意識を持っていないだろうと思う。もっと課題意識を持たせる授業を目指してほしい。」さらに、リソースルームはいい試みだと思う。子どもと先生の関係性の良い学校だと感じた。
- ・リソースルームの課題は、11月末に実施する先進地視察とも絡めて、より良い方向が見つけられるようにしてほしい。全般的に「子ども達が学びに向かう目が良い。→指導する先生方の目も良い。→先生方の言葉がけも良くなっている。」と感じた。学び合いの姿で(孤立という観点で)気になる子がいた。英語で親和的なムードが良かった。保体の授業で最後の小中一貫を意識した投げかけがとても良かった。
- ・3年間見てきたが、生徒と教師のスタンスがいい意味で近づいてきている。いい意味でボトムが上がってきている。e-ライブラリーを活用している生徒がいて(生徒自身も、授業者の授業づくりも)上手に感じた。卒業時の段階で目に見える形で学校が向上している事実(証拠)を示すことが大事に感じる。授業全体が向上するには、観点を踏まえた授業理論を確立し、教員全員で確認し合う状況まで持ってほしい。

◆◆ 10/30～学校評価アンケートになにとぞご協力をお願い申し上げます。心よりのお願いです。 ◆◆

アンケート実施期間は10月30日(月)～11月10日(金)です。COCOOで配信いたします。